

## 平成22年度 入学試験問題

### 看護科学域博士前期課程：専門科目

試験時間 10：30～12：00 90分間

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は2ページである（表紙を除く）。
3. 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答用紙の所定の記入欄には、監督員の指示に従って、それぞれ正しく記入すること。
5. 解答は、9領域中2領域について必答とする。まず、各自が専攻する専門領域を選択して、その問題について解答しなさい。  
さらに、他の領域から一領域を選択して、その問題について解答しなさい。
6. 問題冊子の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

首都大学東京 大学院 人間健康科学研究科

## 1. 母性看護学領域

女性が主体的な出産をするにあたって、現状で問題となっていることを2つ以上述べ、それに対する対応策についてあなたの考えを述べなさい。

## 2. 小児看護学領域

小児医療におけるインフォームド・アセントについて、あなたの実践例（成功例でも失敗例でも可）をあげながら説明しなさい。さらに、インフォームド・アセントについて、あなたの考えを述べなさい。（800字以内）

## 3. 成人看護学領域

糖尿病患者への看護のポイントを簡潔に述べなさい。

## 4. 高齢者看護学領域

高齢者を対象としたフィジカルアセスメントについて以下の質問に答えなさい。

- 1) 高齢者のアセスメントとして重要なフィジカルアセスメント（例：呼吸器のアセスメント）を2つ選び何故重要と考えるのかその理由を述べなさい。
- 2) 上記1) で選択したフィジカルアセスメントの方法と得られた情報の解釈について説明しなさい。

## 5. 地域・在宅看護学領域

次の設問AとBのどちらか1題を選択し、解答しなさい。

【A】 次の英文を読み、設問に答えなさい。

(引用文献)

(Warner, K. D. (2009). Setting the Stage for Community Health Nursing. In Allender, J. A., Rector, C., & Warner, K. D. (Ed.), *Community Health Nursing: Promoting and Protecting the Public's Health; Seventh Edition* (pp. 47). Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins.)

問1 下線部（1）が示す内容について、日本語で述べなさい。

問2 下線部（2）を和訳しなさい。

問3 下線部（3）を和訳しなさい。

問4 本文について、250字以内の日本語で要約しなさい。

【B】

WHO が 2001 年に発表した国際生活機能分類 International Classification of Function, Disability and Health (ICF)は、わが国の在宅看護の歴史のなかでも大切にされてきた療養生活への支援、在宅療養生活への希望（主として「参加」部分に相当）への支援が表現されており、保健医療福祉の幅広い分野の従事者が療養生活の機能や疾病の状態について共通理解しやすい概念となっている。

ICF の概念を在宅看護に適用する例をあげて、「参加(Participation)」と「活動(Activity)」そして「環境因子(Environmental Factors)」について、在宅看護で扱う情報を説明しなさい。

## 6. 地域精神看護学領域

境界性人格障害者の看護において、看護者は往々にして心理的動揺を経験することが知られている。この心理的動揺に対して、あなた自身がどのように考え、どう対処しているか、また、対象者である境界性人格障害のケアとあなた自身の心理的動揺に対する対処法がどのように関連しているかを述べなさい。

## 7. 地域看護活動評価論領域

あなたは、自治体の保健師として、ある地域を担当しています。業務の一環として、その地域内のメタボリックシンドロームが強く疑われる人の割合を把握するための方法について論じなさい。

## 8. 看護倫理学領域

平成21年7月13日、改正臓器移植法が成立した。平成9年の施行から12年ぶりの改正であるが、この改正が医療の現場にどのような影響を及ぼす可能性があるか、また看護職としてどのような対応が必要とされるかについて、あなたの考えを述べなさい。

## 9. 看護管理学領域

近年、看護職の役割・業務拡大について、社会的関心が高まっている。例えば、日本学術会議は、2008年6月に「信頼に支えられた医療の実現—医療を崩壊させないために—」を要望としてとりまとめた。要望の一つとしてチーム医療の推進を掲げ、現在医師のみが実施し得るとされている医療行為の一部について、看護師など、適切な教育を受け、必要な知識と能力を有する他の職種に委譲していくことの検討の必要性に言及している。

このような状況を踏まえ、看護職の役割・業務拡大について、あなたはどうか考えるかを述べなさい。